

*** 乗鞍コロナ観測所 60周年を記念して製作された CD、DVD 収蔵**

乗鞍コロナ観測所は昭和24年(1949年)開所した。今年度で満60周年を迎え、平成21年(2009年)11月20日に観測所への中継地の一つであった松本市で乗鞍コロナ観測所60周年記念式典が行われた。今年度末でその歴史を閉じることになっている。このたび、元乗鞍コロナ観測所職員入江誠氏から60周年記念式典参加者に配布された観測所建設の記録写真のCD、乗鞍コロナ観測所の活動の様子、観測所誕生の経緯などを取り上げたテレビ番組を編集したDVD、60周年記念式典の記念ビデオのDVDがアーカイブ室に届けられた。これらは乗鞍コロナ観測所60周年記念式典の出席者から製作が強く希望されたもので、この度製作が終わり式典出席の観測所OBの希望者に配布されたのを機に天文情報センター・アーカイブ室にいただいたものである。

1枚のCDは「乗鞍の記憶」と表題のついた観測所建設の記録写真集である(写真1)。2枚のDVDの1枚(写真2)は1998年3月5日～6日にNHK岐阜放送局の記者が厳寒期の乗鞍コロナ観測所の職員の交代の際に同行取材し、1998年3月22日に放送された10分間の番組と、詳細が記されていない「午後は〇〇おもいきりテレビ」という観測所開設に奮闘した野附誠夫教授の活躍を中心に、コロナ観測の重要性を取材したドキュメンタリー番組である。2枚目のDVD(写真3)は2009年11月20日の「乗鞍コロナ観測所60周年記念式典」の記録ビデオである。



写真1 乗鞍コロナ観測所建設の記録写真



写真2 テレビ番組のビデオDVD



写真3 乗鞍コロナ観測所60周年記念式典の記録ビデオDVD

これらのCD、DVDのうち、特にテレビ番組を録画したものは、アーカイブとして収集したものであり、国立天文台内で個人的に観賞する以外には著作権の問題があり使用できないものである。